



明日香・聖徳通信



令和6年11月15日発行 校長 角田 哲典 第7号

□第9回幼小中交流音楽会開催

先日11月8日（金）に9回目となる幼小中交流音楽会を実施しました。

数年前までのコロナ禍において、子どもたちの命を守ることを最優先とし、今まで当たり前前にしていた、大きな声で歌ったり、友達と手をつないだりすることが出来ない日々が数年続きました。

音楽の授業においても、自由に音が出せないという制約がありましたが、幼小中の子どもたちの前向きな姿勢や音楽科教員の知恵と工夫により、子どもたちと「音を楽しむ」という経験を積んできました。そして今年も、園児・児童・生徒が聖徳中学校の体育館に集い、たくさんのお家の人の前で友達と一緒に歌ったり、心を一つにした演奏をしたりすることができました。

思わずため息をもらしてしまうほど息のあった小学生の合奏や、表現力が豊かで心のハーモニーが響く合唱、中学生の迫力ある吹奏楽や園児の和太鼓演奏などの子も真剣な姿や爽やかな笑顔に出会うことができました。

保護者の皆様、子どもたちの演奏に温かい拍手をいただき本当にありがとうございました。



（合同合唱）

□第4回幼小中教職員合同研修会開催について（11月6日）

明日香村の一貫教育ではこれまで、言語力の「話す・聞く・読む・書く」の4領域を幼小中共通の中心課題として取り組んできました。昨年度からは、今までの取組を継承しつつ「新たな10年の始まりの年」と位置づけ研究テーマを「問題解決能力の向上を目指して」と設定し、「具体的な方向性」を幼小中教職員の研修会を通して明確にしようとしているところです。

今年度は小学校の先生による授業研究を行いました。これまで数回、幼小中の教員が集まり、それぞれの立場から指導案を検討し、協議を重ね、「教える側」の資質向上に努めました。子どもたちも、一生懸命に頭をひねりながら、課題を解決しようとする姿が見られました。

□GIGA スクール構想早4年…タブレットを上手く活用できていますか？

令和の時代のスタンダードとしての1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークが整備され早4年が経ちました。

以前、保護者の方と話をする中で、「子どもがクロムブックで動画投稿サイトをみている

時間が長い・・・。どうしたものか？」との相談がありました。

子どもたちは、誰に教わるわけでもなく、サクサクとサイトをたどり、自分が必要とする情報にたどり着いています。生まれたときからデジタル社会だとは、こういうことなのでしょうか。

確かに、デジタルは、使い方によって、良い効果も、悪い影響ももたらします。子どもたちがクロムブックで何をやっているのかを知ろうとする前から、画面を長時間見ることが悪いみたいな文化ができてしまうのは、GIGA 端末の活用の中でも、すごくもったいないと思っています。

学校から、子どもたちに課題を出すことによって、家庭で端末を使わざるを得ない状況が発生しますが、それは「家庭で自由に使っていていい」というわけではありません。学びのために使うという意識を持たせるためにも、宿題や課題に活用し、使えるようになるまでの家庭でのルールは必要だと思っています。そうした積み重ねが「クロムブックは遊びじゃなく、学ぶために使うもの」という認識になり、さらに自分の知識が増えた実感が伴ってくると何かが変わるような気がします。

引き続き、学校でも使い方を指導してまいります。ご家庭でも、動画投稿サイトをずっと見続けるようなことが起きないように、使い方をお話していただけたら、と思います。

子どもたちを取り巻く環境も、学び方も、めまぐるしく変化しています。私たち親世代が中学生だった頃には、想像もできなかったものです。トラブルの形態も変わってきています。だからこそ、めまぐるしい変化に、子どもたちが飲み込まれないように、形をかえたトラブルに、子どもたちが巻き込まれないように、周りの大人がアンテナをはって子どもたちを見守っていただかなければならない時代だと思っています。

大変ですが、子どもたちの成長をいっしょにサポートできればと思っています。

□修学旅行実施《小学校》（広島・宮島方面）10月29日～30日

10月29日から30日に小学校の修学旅行を実施しました。初日は、広島の平和記念公園で平和資料館見学やフィールドワークを行いました。そして、「原爆の子の像」前での平和セレモニーでは、たくさんの訪問者の前で自分たちが考える平和について堂々と発信していました。2日目は晴天の下、厳島神社や宮島水族館での見学でした。集団行動や平和を築くための自分の行動など、修学旅行で学んだ事を自分たちの生活にも活かして欲しいです。

